

令和8年度
企画展

ホナミとカマの古墳

古墳時代後期の嘉穂地域を探索

井手ヶ浦窯跡



王塚古墳壁画(桂川町)

令和8年
10/9(金) 11/30(月)

開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)

休館日 毎週水曜日(但し11月25日は臨時開館)

飯塚市歴史資料館 2階企画展示室

JR新飯塚駅東口から徒歩5分・無料駐車場有

〒820-0011福岡県飯塚市柏の森959番地1 TEL・FAX:0948-25-2930

入館料	大人	230円(160円)
	高校生	110円(70円)
	小中学生	50円(30円)

※()内は20名以上の団体料金
土曜日は高校生以下無料

特別講演会
事前申込制

演題 ホナミとカマの古墳時代
講師 辻田 淳一郎氏(九州大学 人文科学研究院 歴史学部門 教授)
日時 10月31日(土)13:30~15:30
費用 無料(但し入館料が必要です)
定員 30名
申込 事前申し込み制(電話にて受付 ☎0948-25-2930)

馬形埴輪もやってくる!



◀ 猫迫 1号墳出土



初お披露目!
久しぶりの帰郷です。 ▲ 小正西古墳出土

【主催】飯塚市教育委員会 文化課

令和8年度企画展

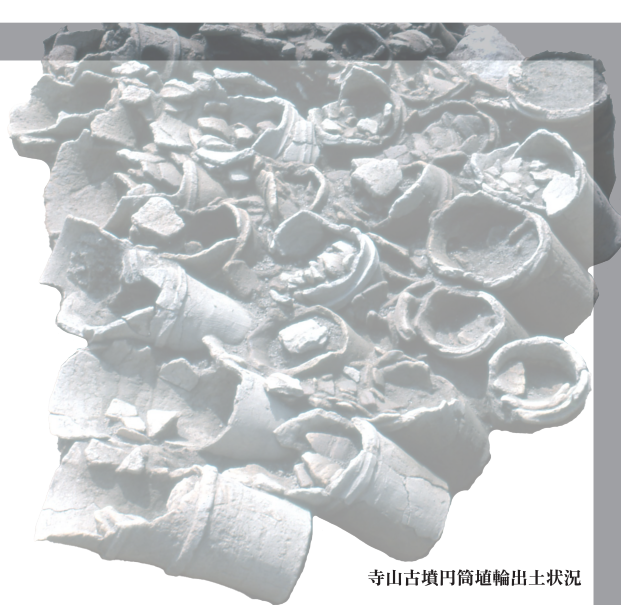
ホナミとカマの古墳

——古墳時代後期の嘉穂地域を探る

古墳時代後期（約1500年前）にあたる^{けいたい}継体天皇二十一年（527）、北部九州では八女地方を拠点としていた筑紫君磐井がヤマト王権に対して内乱（筑紫君磐井の乱）を起しました。

乱の後、ヤマト王権は北部九州各地に政治・経済・軍事の拠点となる「屯倉」を設置し、^{あんかん}安閑天皇二年（535）に嘉穂地域に「穂波屯倉」・「鎌屯倉」が設置されました。その後、古代になると、穂波屯倉のホナミは穂波川流域にあたる穂波郡の郡名に、鎌屯倉のカマは嘉麻川（遠賀川本流）流域にあたる後の嘉麻郡の郡名に引き継がれたと考えられています。

古墳時代後期、この地域（ホナミ・カマ）において生じた大きな変化を、今回の企画展では古墳やその出土品等から考えていきます。



寺山古墳円筒埴輪出土状況



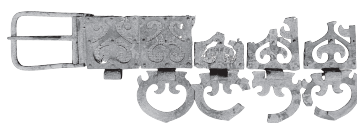
円筒埴輪（王塚古墳出土）
提供：桂川町教育委員会



円筒埴輪
（ホーケントウ古墳出土）



f字形鏡板付簪（山の神古墳出土）
提供：九州大学



〔複製品〕金銅製帯金具（榎山古墳出土）



甲冑形埴輪（猫迫1号墳出土）
提供：田川市教育委員会



円頭大刀柄頭銀象嵌
（山王山古墳出土）

関連イベント

特別講演会「ホナミとカマの古墳時代」

講師 辻田 淳一郎氏（九州大学 人文科学研究院 歴史学部門 教授）

日時 10月31日（土）13時30分～15時30分

費用 無料（但し入館料が必要です）

定員 30名

申込 事前申し込み制（電話にて受付 ☎0948-25-2930）

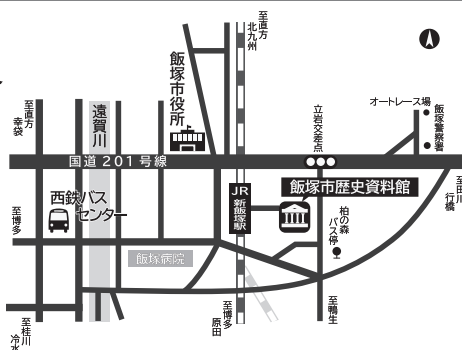
アクセス

◎JR 新飯塚駅「東口」から徒歩5分

◎西鉄バス上三緒方面（2・23線）
柏の森バス停から徒歩2分

◎お車でお越しの方

駐車場 有 無料／最大40台
大型バス4台



飯塚市歴史資料館

Iizuka City Historical Museum



〒820-0011 飯塚市柏の森 959 番地 1

☎ 0948-25-2930（FAX 兼）

✉ rekishi@city.iizuka.lg.jp

🌐 <https://www.city.iizuka.lg.jp/site/rekishi/>

公式ホームページ



REKISHI_IIZUKA

チェックしてね

飯塚市歴史資料館のイベント情報や、
市内の史跡・文化財を紹介しています。
ぜひご覧ください！